

在宅医療連携拠点推進事業の実施状況について

1 目的

県民が、介護が必要となる状態となっても、住み慣れた地域で生活することを支えるためには、医療・介護にまたがる様々な支援を提供する必要がある。

本事業は、通院が困難で在宅での医療が必要な患者へ対応するため、在宅医療・介護をシームレスに連携させる仕組みを面的に整備し、市町村や地区医師会等を連携拠点として、地域の医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャー等の多職種協働による在宅医療支援体制の構築を図るとともに、在宅医療に関する地域住民への普及啓発を促進することにより、本県における在宅医療提供体制の構築を目的とする。

2 事業内容

在宅医療連携拠点として、以下に示す ~ の活動等を通して地域における包括的かつ継続的な在宅医療を提供するための体制を構築する。

	事業内容
	多職種連携の課題の抽出と解決策の検討 地域の在宅医療に関わる多職種（病院関係者・介護従事者等も含む。）が一堂に会する場を設定する。 各地域の行政担当者（保健所を含む。）及び各関連機関等の管理者が参加する会合も設定する。
	在宅医療従事者の負担軽減の支援 地域の医療・福祉資源の量・質の把握、資源の有効活用や不足資源の確保のための具体的な方策の実施 24時間対応の在宅医療提供体制の構築
	効率的で質の高い医療提供のための多職種連携 訪問支援の実施、多職種連携によるケアカンファレンスの開催 チーム医療を提供するための情報共有ツールの活用 在宅医療に従事する人材育成
	入院病床の確保及び家族の負担軽減に向けた取組み 在宅療養者の症状急変時における入院病床確保のための後方支援病院の確保 家族の介護の負担軽減に向けたレスパイトサービスの実施
	在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動 地域での在宅医療を浸透させるためのフォーラムや講演会等の開催 住民向けの地域の医療・福祉資源マップやパンフレット等の発行

3 実施期間

平成26年1月から平成27年3月まで（15か月間）

4 補助事業者

12か所

医療圏	補助事業者名
名古屋	名古屋市東区医師会
	名古屋市昭和区医師会
	名古屋市南区医師会
海部	津島市
尾張東部	一般社団法人瀬戸旭医師会
	豊明市
尾張西部	一宮市
尾張北部	一般社団法人尾北医師会
知多半島	大府市
西三河南部西	安城市
東三河南部	豊川市
	田原市

5 スケジュール（予定含む）

(1) 平成25年度

- ・ 平成25年10月30日 選定委員会事務局【書類審査】
- ・ 平成25年11月14・15日 選定委員会【面接審査】
- ・ 平成25年11月21日 内示
- ・ 平成25年12月24日 事前調整会議
- ・ 平成25年12月27日 交付決定
- ・ 平成26年1月 補助事業開始
- ・ 平成26年1月16日 事業説明会

(2) 平成26年度

- ・ 平成26年4月17日 事業報告会（25年度）
- ・ 平成26年10～11月頃 中間報告会
（地域包括ケアモデル事業と併せて実施）
- ・ 平成27年2～3月頃 事業報告会

6 補助額

1事業者あたりの補助基準額 19,675千円

（平成25年度 2,372千円、平成26年度 17,303千円）

7 補助率

10 / 10

8 委託先

進捗管理を国立長寿医療研究センターへ委託

（平成25年度 3,181千円、平成26年度 8,937千円）

9 予算

平成25年度 31,645千円 平成26年度 216,573千円

在宅医療連携拠点推進事業実施状況【平成26年1月～6月】

拠点名 / 事業実施状況	名古屋市東区医師会		名古屋市昭和区医師会		名古屋市南区医師会	
	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月
多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 拠点事業の推進手順やグループディスカッション実習を実施 各機関への事業説明及び相談（8団体） 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回作業部会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職団体代表者会議「チームハナミズキ」を開催（13団体出席） 多職種連携会開催の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回多職種連携会を開催 第2回専門職団体代表者会議を開催 第2回多職種連携会企画準備 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療に関するアンケート調査を実施（421通発送） 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種に対する在宅医療に関するアンケート調査結果を集計（回収率66%） 訪問看護のネットワーク化を推進
在宅医療従事者の負担軽減の支援	<ul style="list-style-type: none"> 資源調査の実施 訪問看護ステーションによるかかりつけ医支援体制構築の検討 事業説明及び相談（3団体） 	<ul style="list-style-type: none"> 全職種対象にアンケート調査を実施 中日病院にてアセスメントシステムの運用を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療従事者の現状把握のためのアンケートを作成 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査を実施 かかりつけ医支援システムの検討 昭和区訪看事業所連絡協議会設置の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 実務者会議を開催 名古屋市南区在宅医療推進調整会議を開催 	<ul style="list-style-type: none"> 第2回実務者会議を開催。アンケート結果から問題点を検討 中京病院・大同病院からの研修医受入の準備
効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> 各種情報共有システムに関する情報収集と比較検討 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有ツールの運用を開始 守山区、北区、東区医師会にてツール利用手順の説明会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ICTによる情報共有ツール使用説明会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ICTツール「エイル」試験運用を開始 第1回ケア勉強会実施の検討 ホームページを活用した情報提供システムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 研修医の在宅医療体験実習受入の準備 	<ul style="list-style-type: none"> カナミックICTを拠点で試行的に運用及び普及 名古屋市医師会同ルール作りに参画、南区へ普及準備
入院病床の確保及び負担軽減に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 病院への在宅医療へのニーズのヒアリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 急性期病院対象としたアンケート調査を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 後方支援病床のあり方の説明及び協力依頼（5団体） ショートステイ空床確認システムの準備 	<ul style="list-style-type: none"> 昭和区病院協議会を2回開催 ショートステイ空床確認システムの検討 	<ul style="list-style-type: none"> 南区中小病院医療連携会議を開催（1回：11団体出席） 	<ul style="list-style-type: none"> 南区中小病院医療連携会議を開催（5病院が輪番に賛同）
在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ラジオによる在宅医療啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 行政、医師会、いきいき支援センターで区民を対象としたイベント開催の企画作成 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ開設の検討 パンフレット内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの開設、事業所情報の公開を検討 啓発ポスターの作成 小学生、保護者の企画を検討 認知症、緩和ケア講演会を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療連携拠点推進事業シンポジウムの準備 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療連携拠点推進事業シンポジウムを開催（1回：180名参加） 中日新聞へ記事掲載
その他の取組み				<ul style="list-style-type: none"> 在宅栄養補給に関する取組を検討（8回） 拠点事業事務局会議を開催 		<ul style="list-style-type: none"> 名古屋市立大学医学部6年生へ地域包括ケアシステムを講義
拠点名 / 事業実施状況	津 島 市		瀬戸旭医師会		豊 明 市	
	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月
多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療連携推進協議会を開催（1回：15団体出席） ワーキングを開催（4回：8団体出席） 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療連携推進協議会を開催（1回：15団体出席） ICTワーキングを1回開催 地域支え合いワーキングを1回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 医療介護連携推進協議会を3回開催 小委員会（尾張旭市）を2回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 医療介護連携推進協議会実行委員会を開催（2回：委員39名） 小委員会（部会）を4回開催 小委員会（尾張旭市）を2回開催 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成検討会を開催 ケアマネジャー連絡会を開催（1回/2か月） 地域包括支援センター連絡会を3回開催 先進地視察（千葉県柏市） 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア連絡協議会を設置 ケアマネジャー連絡会を1回開催 包括連絡会を3回開催 地域会議を2回開催
在宅医療従事者の負担軽減の支援	<ul style="list-style-type: none"> 総合相談窓口設置 衛星携帯電話の設置 医科歯科連携システム構築 かかりつけ医のバックアップ体制 	<ul style="list-style-type: none"> 電子連絡帳システムの運用 	<ul style="list-style-type: none"> 資源調査内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 資源調査を実施（薬剤師会） 資源調査の内容検討（医師会、歯科医師会、介護サービス事業者） 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の安否確認・異常早期発見事業を開始
効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> 電子連絡帳の運用開始 従事者実務研修を2回開催 三医師会合同研修会を1回開催 在宅医療研修会へ講師を派遣 	<ul style="list-style-type: none"> 電子@連絡帳説明会を開催（4回：61名参加） 従事者実務研修を開催（1回：50名参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ICT情報共有ツールの検討、テスト運用開始 情報共有ツール説明会を開催（3回） 事業説明会を開催（11回） 	<ul style="list-style-type: none"> ICT情報共有ツールの正式運用開始 事業説明会及び情報共有ツール説明会を開催（5回：88名参加） 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成研修を3回開催 地域ケア会議を2回開催 ICTネットワーク/いきいき笑顔ネットワークの普及と活用に向けた勉強会やPR活動を実施 	<ul style="list-style-type: none"> いきいき笑顔ネットワークと見守りセンサー機器を活用した多職種連携支援の実施 地域ケア会議を5回開催
入院病床の確保及び負担軽減に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> 津島市民病院での後方支援病床の運用開始と利用方法の周知 	<ul style="list-style-type: none"> 津島市民病院での後方支援病床制度（在宅医療支援病床）の運用と周知 	<ul style="list-style-type: none"> 後方支援病床確保の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き後方支援病床確保を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 医師会と藤田保健衛生大学病院を中心とした後方支援体制について協議 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所等へヒアリングを実施 退院調整部会を設置（後方支援体制を協議）
在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> 「超高齢社会におけるまちづくり」をテーマに情報交換 ホームページで取組状況を紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者見守りネットワークの確立に向けた取組 配食ボランティア団体へ出前講座を開催（53名参加） 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを開設 市民フォーラムを開催（216名参加） 	<ul style="list-style-type: none"> 市民フォーラムの内容を検討 チラシ、リーフレット等の周知方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア講演会の開催 市広報誌への特集記事を掲載 ポータルサイト掲載及びチラシによる市民啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> いきいき笑顔ネットワークポータルサイト及び市のホームページによる啓発
その他の取組み	<ul style="list-style-type: none"> 「夜間対応型訪問介護」と「定期巡回随時対応型訪問介護事業所」の募集を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が「ドブ」(仮称)作成の検討 			<ul style="list-style-type: none"> 藤田保健衛生大学・UR都市機構・豊明市による豊明団地に関する検討 	<ul style="list-style-type: none"> 藤田保健衛生大・UR都市機構・市の豊明団地に関する協議（3回）

拠点名 / 事業実施状況	一宮市		尾北医師会		大府市	
	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月
多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	・在宅医療連携推進協議会を開催(1回:12団体出席) ・在宅医療連携推進委員会を開催(3回:委員17名)	・在宅医療連携推進協議会を開催(1回:12団体出席) ・在宅医療連携推進委員会を開催(3回:委員17名)	・多職種協働在宅チーム全体会議を開催(1回:28団体出席)	・多職種協働在宅チーム全体会議を開催(1回:30団体出席) ・在宅医療支援ネットワーク会議を開催(2回:委員13名)	・準備会議を開催(3回:9団体出席)	・在宅医療・介護連携推進会議を開催(1回:委員19名) ・24時間体制WGを2回開催 ・情報共有WGを2回開催 ・認知症対応WGを2回開催
在宅医療従事者の負担軽減の支援	・在宅医療参加のための医師向け勉強会を開催(1回:45名参加)	・医療介護資源の把握活用のため医師会ホームページ改修を検討	・関係事業者に対する意識調査を実施(約600通発送)	・意識調査報告書の作成及び配布(約450名配布)	・アンケート案を作成 ・定期巡回随時対応型訪問介護事業所への申請の支援	・意識調査実施(回収率76.4%) ・ICT導入に向けた豊明市視察と事務局会議の開催
効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	・多職種連携研修を開催(3回) ・情報共通様式の作成 ・ICTによる情報共有ツールの検討 ・連携拠点先行地域への視察	・一宮市地域連携アセスメントシート試行運用の開始 ・ICT情報共有システムの選考及び試行運用の開始	・患者情報の共有方法の検討	・F「ル事例ハンドブック」作成の検討 ・勉強会の検討 ・多職種連携研修会・交流会の検討	・電子連絡帳について事務局で検討 ・地域医療ネットワークについて事務局で検討	・全体会議兼多職種連携研修会の開催(2回:161名参加) ・介護支援専門員、通所サビ、訪問介護事業所総会説明
入院病床の確保及び負担軽減に向けた取り組み		・地域拠点において病棟関係者への聞き取り調査を実施	・管内病院長と役員懇談会の実施(8団体)	・レスパイトサービスの検討	・市外近隣病院等との入院病床確保に関する連携について事務局で検討	・近隣病院等とのICTによる連携を事務局で検討
在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	・住民向け相談会、交流会を2回開催 ・ホームページ開設の検討	・ケーブルテレビでの情報発信 ・市民フォーラムの企画検討 ・相談会・交流会の開催	・パンフレット内容の検討 ・ホームページ開設の検討	・家族介護講座の準備 ・在宅医療推進F「ル」の内容検討	・国立長寿医療研究センター主催の市民公開講座に後援	・講座を開催(400人参加) ・8地区民生児童委員会で説明 ・民生児童委員高齢者部会講義
その他の取り組み			・在宅専門医による講演会実施(84名参加)	・看護師復帰支援事業の検討 ・大府市在宅医療連携拠点事業の視察	・地域医療連携研究会、認知症支援ネットワーク検討会議、元気な幸齢社会を目指す検討会議を開催	・元気な幸齢社会を目指す検討会議の開催と報告書準備 ・地域医療連携研究会の準備
拠点名 / 事業実施状況	安城市		豊川市		田原市	
	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月	1月～3月	4月～6月
多職種連携の課題の抽出と解決策の検討	・在宅医療連携推進協議会を開催(1回:9団体出席) ・多職種ネットワーク会議を1回開催	・安城医療福祉ネットワーク会議で研修会を実施(1回:126名参加)	・在宅医療連携拠点推進会議を開催(1回:17団体出席)	・在宅医療支援体制検討部会を開催(1回:13団体出席)	・医療介護連携推進担当者会議開催(3回:10団体出席) ・担当者視察(津島市)	・医療介護連携推進担当者会議を3回開催 ・医療介護連携全体会議の開催(1回:21団体出席) ・地域包括運営協議会を1回開催
在宅医療従事者の負担軽減の支援	・実務担当者会議を開催(1回:11名参加)	・連携に関するアンケート案を作成	・地域資源リストの作成	・アンケート調査の作成 ・社会・福祉資源の集約	・医療介護資源調査内容の検討	・医療介護資源・意識調査の実施(回収率89.4%) ・在宅医療用語集の作成
効率的で質の高い医療提供のための多職種連携	・人材育成研修を開催(1回:62名参加)	・多職種向けの研修会を開催(2回:158名参加) ・情報共有方法について事務局で検討	・在宅医療・介護ネットワーク講演会、交流会を開催 ・電子連絡帳端末導入検討部会を開催(1回:12団体出席)	・三師会向け電子@連絡帳説明会等を5回開催	・電子連絡帳活用研修会を8回開催	・介護保険事業者等研修会を2回開催 ・医療介護連携研修会を3回開催 ・ほいぶネットワーク説明会を1回開催
入院病床の確保及び負担軽減に向けた取り組み		・レスパイト入院の利用に関する実績を把握し、検討 ・八千代病院が増築・増床	・在宅医療支援体制検討部会を開催(1回:13団体出席)	・レスパイトサービス実施施設等への訪問調査の検討	・後方支援病床の確保の検討 ・渥美病院との連携によるレスパイト事業の実施	・引き続き渥美病院との連携によるレスパイト事業の実施
在宅医療に関する地域住民への普及啓発活動	・情報提供の方法について検討	・地域資源マップ作成のためのアンケート案を作成	・研修・広報検討部会を開催(1回:15団体出席) ・認知症資源マップ(2,000枚)・在宅医療推進啓発チラシ(42,000枚)の配布	・出前講座実施(10回:249名) ・ホームページ、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の開設	・地域包括ケア及び在宅医療の講話を開催(10回:9団体)	・出前講座を3回実施 ・講演の実施
その他の取り組み						・ハートフル研修(2回) ・認知症介護家族教室(3回) ・介護家族教室(3回) ・認知症予防教室(3回) ・介護予防リーダー会議 ・介護保険調査員研修会

在宅医療従事者能力向上研修事業

1 目的

地域で中核となって在宅医療を推進する医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、ケアマネジャー等の在宅医療関係者や中立的な立場から医療と介護の連携に取り組む市町村職員等の能力を向上し、多職種が連携する在宅医療の取り組みを県内全市町村へ拡大することを目的とする。

2 研修回数

平成26年度：4回（平成25年度は1回実施）

3 対象者

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー、言語聴覚士、市町村職員、保健所職員で、原則として平成25年度に開催したこの研修会に出席した者（4回のうち、いずれか1回参加）

4 内容

(1) 講義

(2) 連携拠点の取組

(3) ワークショップ

「在宅医療連携体制構築における各職種の役割と活動
～地域包括ケアの実現に向けて～」

5 到達目標

- (1) 医療と介護の連携に市町村が主体的に取り組むことの重要性を理解し、地域ごとに医療と介護の多職種が連携するネットワークが構築できる。
- (2) 在宅医療と介護の連携が介護保険法で義務化される平成30年度に向け、市町村等が本研修会参加者と連携を図り、主体的に研修会を開催すること等により、県内全市町村において在宅医療連携体制が構築できる。

6 委託先

独立行政法人国立長寿医療研究センター

7 予算

平成25年度 820千円 平成26年度 3,230千円

ケアマネジャーのための医療知識向上推進事業

1 目的

医療と介護の連携を担うケアマネジャー等福祉関係者に対して、医療に関する問題・悩みの相談、助言を行うための窓口を設置するとともに、セミナー・ワークショップの開催を通じて、医療知識を向上させることを目的とする。

2 実施期間

平成26年1月から平成28年3月まで

3 補助事業者

国立大学法人名古屋大学

4 事業内容

(1) 相談窓口の設置

ア 窓口開設時間

平日：月曜日から金曜日（祝日及び年末・年始を除く）

時間：午前9時から正午、午後1時から午後5時まで

イ 相談方法

電話、ファクシミリ、来訪のいずれか

電話：052-744-2592

ファクシミリ：052-744-2999

ウ 開設場所

名古屋市昭和区鶴舞65

国立大学法人名古屋大学医学系研究科附属地域医療支援センター内

(2) セミナー・ワークショップの開催（26・27年度のみ）

各年度それぞれ6回以上開催

5 その他

ホームページアドレス

<http://med.nagoya-u.ac/edu/msc/>

